

Local Expert Risk Mediation (LERM) for a Sustainable Forestry Development in Kochi Prefecture/Kami City, Japan

著者	GAIN Dennis
year	2017-03
その他のタイトル	高知県香美市における持続可能な森林整備のための地域専門家によるリスク調停
学位授与機関	高知工科大学
学位授与番号	26402甲第304号
URL	http://hdl.handle.net/10173/1508

氏名(本籍)	Dennis Gain (ドイツ)
学位の種類	博士(学術)
学位記番号	甲第304号
学位授与年月日	平成29年3月24日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻
学位論文題目	高知県香美市における持続可能な森林整備のための地域専門家によるリスク調停 Local Expert Risk Mediation (LERM) for a Sustainable Forestry Development in Kochi Prefecture/Kami City, Japan

論文審査	(主査) 高知工科大学	教授	渡邊 法美
	高知工科大学	准教授	中川 善典
	高知工科大学	講師	馬淵 泰
	高知工科大学	教授	西條 辰義
	高知工科大学	教授	國島 正彦

審査結果の要旨

1.論文の評価

- ・ 香美森林組合の現場施業特徴調査、補助金効果評価、法制度比較分析を行い、その結果から、森林管理方針を導出した申請者の努力は評価できる。
- ・ このような研究は日本に殆ど存在せず、新規性があると言える。
- ・ 提案方針の実現性・有効性の検証が必要である。
- ・ 現場実務の実態を十分に理解した上で、本提案を行っている点は評価に値する。
- ・ 林学の分野でも、学位に値する研究であると言える。
- ・ 本研究成果は社会に役立つものと言える。日本人実務者だけでなく、高校生等の若者にも日本語で広く伝えるべき内容である。

2.審査の経過と結果

- (1) 平成29年1月11日 博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定し、6名がその審査委員として指名された。
- (2) 平成29年2月18日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 平成29年3月8日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。